

## 令和6年度 出雲市戦没者追悼・平和祈念式典 戦没者追悼・平和祈念のことば

本日ここに飯塚市長様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席をたまわり、出雲市戦没者追悼・平和記念式典が厳粛に行われるにあたり、出雲市遺族会を代表いたしまして、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

歳月の流れは早いもので、日本が終戦を迎え79年目を迎えようとしています。先の大戦において、愛する家族の幸せと国の安寧を願いながらも、我が国で310万人、出雲市において、6,244人も尊い命が失われました。

最愛の家族を突然失った悲しみは深く、何度もくじけそうになりましたが、私たち戦没者家族は助け合い励まし合い、今日まで懸命に生きてまいりました。

時は過ぎ、あれから79年が経過しました。私たち家族が、今日こうして平和と自由を享受できますのは、戦没者の尊い命と、苦難の歴史の上に築かれたものであることを、決して忘れてはなりません。

しかしながら、国際情勢に目を向けますと、依然として争いが絶えることなく幾多の尊い命が犠牲となっています。今般のロシアによるウクライナ侵攻やイスラエル・パレスチナの武力衝突は、目を覆いたくなるような惨状であり、かつての戦争と重ね合わせ、やり場のない悲しみと憤りを禁じえません。

来年は戦争終結から80年を迎えます。私たち戦没者家族は、あの忌まわしい戦争が繰り返されないために、二度と我々のような家族を出さないために、戦争の悲惨さや、命の尊さ・平和の尊さを孫、ひ孫の世代に語り継ぐとともに、英霊の顕彰と組織の維持に努めることを、ここにお誓い申し上げます。

結びに、本日ここに ご英霊のご冥福とご参列の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げるとともに、出雲市戦没者追悼・平和祈念式典を開催していただきましたことに深く感謝を申しあげ、追悼のことばといたします。

令和6年8月4日 出雲市遺族会 会長 山代 裕始